

中登別 四方嶺（549m） 会山行記録

山行日	2020年（令和2年）11月15日（日）
山行形式	日帰り 夏山登山
参加者 計23名	藤木たかりダー 藤木（晴）、小山内、澤田、長沼、西田（芳）、佐藤、近藤、森永、川村 笹山、小笠原、太田、門馬、谷、宇佐美、酒井、竹内、栗山、増川、嶋原、宇田、八重樫
天候	晴れ時々薄曇り 微風 登山日和
行程時間	岡志別運動公園（集合） 7:30、→（解散）13:30

11月の会山行、一週間前の初雪ではカムイヌプリ、室蘭岳も真っ白となり、いよいよ冬山シーズン到来かと思われたが、当日の晴れ予報通り穏やかな小春日和の登山となった。

倶多楽湖観光道路、白老との境界線を過ぎてすぐに、大きなイチイの木が2本と「山神」の石碑がある。ここが倶多楽湖への旧道入口で、体操、コロナ菌の除菌後出発。山道は明治時代鉄道の敷石を切りだすための馬車道が今でも残って歩きやすい。あちこちに旧道ガイドがあり、中尾トメさんの生涯を記されていて昔を偲びながら進む。

（山行時間）

時刻	場所・状況・行動
8:10	「山神」から 登山開始
9:10	361m尾根・沢コース分岐
9:15	峠 分岐（四方嶺－クッタラ湖）
9:50	四方嶺への尾根分岐
10:15	四方嶺頂上 15分休憩後下山
11:00	峠 分岐（四方嶺－クッタラ湖）
11:20	クッタラ湖 湖畔 昼食
11:55	－：－ 出発
12:50	「山神」 登山口着
登山Hr	登り2:05（四方嶺頂上迄） 下り0:55（湖畔から）



藤木リーダー コロナ菌消毒中



旧道カイドの立て看板



おきな2本のイチイと「山神」石碑



緩やかな道を30分程行くと、左が切れ込んだ沢道で斜度もきつくなる。少しヤブ漕ぎをして峠の分岐（四方嶺－倶多楽湖）に出る。まずは四方嶺に向かう。不鮮明な踏み跡を登るが標高差150mでも中々きつい。登り切ると尾根分岐に出て、左は倶多楽湖と太平洋、右には地獄谷やオロフレの山々と見晴しが良い遊歩道を進むと三等三角点の頂上に出る。直ぐ下にはクマ牧場があり、係り員の人が様子を見に来た。栗山さん宇佐美さんの誕生祝い、全員写真を撮り、すぐ下山湖畔に向かう。



峠から四方嶺への急登



四方嶺側から見たクッタラ湖



展望台での全員写真

分岐からは広幅の道が続いているが途中で藪の急な坂を降りて湖畔に出る。レストハウスもトイレも閉鎖しており、訪れる車もまばら。中尾トメさんもこの辺に住んでいたのか？。透明度が摩周湖に次ぐ湖水を見ながら昼食を摂る。帰りは来た道を戻る。天候に恵まれ、古の歴史に触れながらの楽しい山行でした。藤木リーダー企画、実行ありがとうございました。（記）西田